

「絶好調・千葉ジェッツを支えるグランドスタッフの大晦日と元旦」

2022年12月31日(土) & 2023年1月1日(日)

B.LEAGUE 第15節 千葉ジェッツ VS 三遠ネオフェニックス

15:05 TIP OFF 船橋アリーナ 観衆 4465名(12月31日) 4553名
(1月1日) ※両日とも完売で当日券なし 天候 両日ともに晴れ



↑船橋日大前駅ホーム

↑ホワイエ(正面コンコース)

↑正面入口



↑消毒液

↑炊き出しの提供

↑「船橋の力で日本一に！」

1、「ご搭乗ありがとうございます」航空会社をモチーフにした挨拶

東京メトロ・日本橋駅からの直通快速電車で35分。船橋日大前駅のプラットホームに着くと円形の柱には選手のポスターが貼られていて、早速「その気」にさせられてしまいます。駅を降りると左手には日本大学のグラウンド、右手には閑静な住宅街が続き、歩いて10分弱で船橋アリーナに到着です。サブアリーナ内にある和室がグランドスタッフ(ボランティア)の控室です。試合開始の4時間15分前に集合で、31日は19名、1日は13名の方と一緒に活動です。

11時になると、ホワイエとよばれる正面コンコースでグッズ販売、案内所等のアルバイトの方を含め総勢100名前後での全体ミーティングが始まりました。「千葉ジェッツは航空会社をモチーフにしているため挨拶は、ご入場の際はご搭乗ありがとうございますに変えてください」との説明がありました。また、お客様がアリーナで最初と最後に接するのはアルバイトとグランドスタッフなので、明るく元気な挨拶でお客様に接するよということに関して何度も説明がありました。どこのクラブでもミーティングで挨拶の徹底は言わ

れますが、最も接客に対して徹底しているように感じました。そのためグランドスタッフだけでなく、アルバイトの方の接客が良かったように感じました。

その後、グランドスタッフの全員がゲートでの活動になり、イベント会社の社員の方から再度ゲートに特化した説明がありました。入場口のレーンは4カ所あり、各レーンに手荷物検査、バーコードによるもぎり、サンプリング、あと再入場専用のレーンの担当があります。リーダー的存在の方がその場で担当の割り振りをしていきます。(1日はアルバイトの方にもレーンでの業務に加わっていただきました)

「1・2・3 GO JETS」の掛け声で一体感を出し、活動開始です。(この掛け声はJリーグクラブでもよく見かけます) サンプリングでお渡しするゲームデープログラム(マッチデープログラム)にチラシを折り込みました。(1日はさらにタオルの配布が加わりましたが、袋詰めされていたため、この作業はありませんでした)

初めて活動される方向けにベテランのグランドスタッフの方が場内案内ツアーをしていただき、トイレ、喫煙所などの場所を説明していただきました。休憩時間中の観戦は不可で、アリーナ内の様子がわかり皆さん好評のようでした。

2、31日年越しそば、1日は豚汁の炊き出しサービス

13時の先行入場開始前に、両日とも音響などの演出会社から年末年始の試合という事で特別に炊き出しのサービスがあり、31日は温かい年越しそば、1日は豚汁、お餅の振る舞いサービスがありました。

先行入場開始後から試合開始までの2時間ほとんど待機列が切れることなくお客様が来場されました。来場者配布物を渡しながら、お客様の顔を見て「ご搭乗ありがとうございます」とご挨拶するスピードが追い付きませんでした。ベテランの方にはこやかに対応しておりました。またJリーグとは違い、オープニングフライトと呼ばれるイベントが試合開始1時間前に行なわれるためお客様の来場が早いのも特徴です。

試合開始後はゲートも1カ所になり、休憩が頻繁に取れるようになりました。

試合終了後は31日はゲートでのゴミ回収、1日はパートナー企業様からいただいた商品の座席番号(=抽選番号)のボード前での「当選番号はこちらに掲示しております」との案内をして、18時前に集合場所に戻り終礼を行ないました。今シーズンから活動後の振り返りが行われ、その場で良かった点、改善すべき点を共有し次の活動で反映される仕組みが出来上がり、ベテランのグランドスタッフの間では今まで以上にやりがいを感じるようになり好評だそうです。

3、「お客様と運営の立場の両立できる人が長く残っている」

「50代の方が多いな！」今回のグランドスタッフの第一印象でした。私もその一人なのですが、どのスポーツボランティアでもこの世代の割合は正直に申し上げてかなり少なく、この世代の比率が多いことに注目していました。この世代ですと、かなり社会経験を積まれ

ているので、グラウンドスタッフ同士、およびイベント会社の方との「距離感」のバランスの取り方が上手なのではないかと思いました。ゲートでは臨機応変な対応が必要とされるポジションなので、このイベント会社の方の存在は（もちろん良い意味で）大きいと感じました。

またリーダー格の方が私含めて初めての方に対して「サンプリングはこうしたほうがやりやすいよ」などと気配り、目配りをされているのが印象的で、私も見習わなければと思いました。

あるベテランの方が「Bリーグを応援することが好きで（特にジェッツが好き！相手チームに対するリスペクトする姿勢も持ち合わせている）ブースターの立場もわかり、試合運営側の目線でも見ることができる人が長く続けている」という一言に妙に納得しました。これはマラソンでもJリーグでも一緒だなと感じました。

一方、土日の試合でも1試合あたりの活動者は10数名で、数回来ただけでいつの間にかいなくなってしまった方もいらっしゃるようです。排他的な雰囲気は全く感じられませんが、（結果的に）活動者の世代が固まっているのが課題であると思いました。来場者の客層も乳幼児からご年配の方まで幅広いので、さまざまな世代の方が参加できる体制になれば、さらにバランスが取れたグラウンドスタッフになれるのではないかと感じ、年越しした船橋の地での活動を無事に終えることができました。ありがとうございました。

補足 グラウンドスタッフには設営、撤収の活動はないとのことでした。

4、番外編 今日初めてグラウンドスタッフに参加した方たち

- ・ふだん（隣接の）サブアリーナのジムで運動をしているが、募集していることを知り始めた
- ・何か新しいことを始めたいと思った
- ・大学でスポーツビジネスを学び、その職に就きたいと思って冬休みを利用して九州から参加した

といったお話を伺いました。年始にこのような前向きのお話を聞けて良いスタートが切れそうです。